

🎧 イベント予告 **西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展の開催**



広く市民から募集した西郷関連の書道作品を展示し、郷土の偉人西郷隆盛の人徳と偉業をしのぶとともに郷土への関心を高めることを目的に、西郷が没した9月24日をはさむ30日間、当館で開催するもので、今年で17回目を迎えます。期間中は全国からの力強い作品が並びますので是非立ち寄りください。

開催スケジュール
 〈期間〉9月21日(土)～10月20日(日)の30日間
 〈場所〉維新ふるさと館
 〈入館料〉大人300円、小人150円

🎧 イベント予告 **維新ふるさと館30周年記念 「下加治屋町リトリート ～古書と音楽～」**

郷土史にこだわった古書とクラシックジャズのレコードを集めた秋のマルシェイベントを開催! 鹿児島市内のコーヒーショップ、加治屋町の家具屋さんのご協力いただきカフェスペースもオープンします。維新ふるさと館で本や音楽との出会いの時間をお楽しみください。



開催スケジュール
 〈開催日〉11月2日(土)～11月10日(日)の9日間
 〈時間〉各日 10:00～16:00
 〈場所〉鹿児島市維新ふるさと館 受付前

🎧 イベント予告 **維新ふるさと館 第2回歴史講座 開講決定!**



前回の受講の様子

来る12月6日(金)・7日(土)に、歴史講座②「斉彬の夢を受け継いだ近代紡績の祖、石河確太郎」を開催します。斉彬のもとで活躍し、夢を受け継いだ学者にスポットをあて、当館副館長兼歴史解説員の佐々木が講演いたします。鹿児島の歴史をもっと知りたい方! 参加をお待ちしています。

温故地新

ふる 故きを 温ね、たず 地元を新たに。

■職場体験学習(紫原中学校)

7月10日(水)～12(金)の3日間で紫原中学校の生徒さん2名を職場体験学習で受け入れました。期間中は接客・マナー研修、設備バックヤード見学、館内の展示説明学習など様々な体験ができました。最終日の展示説明発表では丁寧に自分たちの言葉で説明する姿が印象的でした。



ホームページ



X (旧 Twitter)



Instagram



毛利正直が書いた 若者たちの愛読書『大石兵六夢物語』

(大石兵六夢物語の像:鹿児島市吉野町)

維新を歩く

江戸時代に鹿児島の若者たちに愛読された物語があります。「兵六餅」の絵で知られる大石兵六を主人公とした『大石兵六夢物語』です。あらすじは、以下のとおりです。

郷中教育に励む兵六は、吉野実方から白銀坂にかけて往来の人々をたぶらかしている化け物を退治することを友達に宣言し、一人で真夜中0時に白銀坂を目指し出発します。勇んで進む兵六ですが、次々に現れる化け物(実は吉野の狐たちが化けている)にさんざんな目にあわされ、心岳寺の和尚に化けた狐によって坊主にされてしまいます。しかし、我に返った兵六は、狐二匹をしとめ、翌朝、友達の待つ城下へ帰り着くことができました。

この物語が好まれたのは、なんといっても滑稽さですが、社会や人間に対する風刺、若者に対する教えや戒めも含まれています。文章はリズムカルで読みやすく、日中の古来の詩歌や文章を踏まえた引用やまじりの面白さもあります。娯楽的な楽しさと知的好奇心を満足させる面白さを兼ね備えていたことが魅力だったのです。この鹿児島を代表する古典文学の作者は、毛利正直

です。正直は、宝暦11年(1761)、毛利正堅の二男として、鹿児島城下加治屋町(鹿児島中央高等学校正門道路向い)で生まれました。文才に長け和漢の古典に精通し、屋久島書役などを勤めますが、24歳のとき草牟田池之平に居を移し、手内職をしながら著作活動を行いました。『大石兵六夢物語』は、正直のオリジナルではなく、川上何某作の『大石兵六物語』を基に、正直が修正し整えた作品であるとされます。

この物語には、論語、史記、孫子、古今和歌集、百人一首、太平記など古典の表現が随所に見られ、読者である若者たちの文化・教養の高さが分かります。土道の退廃、利欲をほしいままにする者たちへの戒めなど社会批判も含まれる物語を、西郷や大久保はどのように読み、何を感じたのでしょうか。

現在、誕生地跡に「兵六夢物語の碑」(中村晋也氏制作)、物語の舞台である吉野町の御召覧公園に、「大石兵六夢物語の像」(野間口泉氏制作)が建っています。



(兵六夢物語の碑:鹿児島市加治屋町)

(文・佐々木幸男 維新ふるさと館 副館長兼歴史解説員)

イベント予告 薩摩偉人 維新伝心隊による「維新演劇シアター」2024

史実に創作を織り交ぜた現代風歴史物語を、役者扮する鹿児島ゆかりの偉人たちが、身近にわかりやすく語る「維新演劇シアター」。是非熱いステージをご覧ください!

上演スケジュール

【西郷さんイトさんの「愉快痛快!? 来て来て西郷さんち!」】

2024年 11月17日(日)、12月22日(日)、2025年 1月1日(水・元旦)

〈上演時間〉 上演日の12:30～13:00(30分間)

〈会場〉 維新ふるさと館 地階「維新体感ホール」

〈観覧料〉 無料(入館料のみ)



イベント 夏休み親子歴史講座 開催

7月27日(土)鹿児島市国際交流センターで「なるほど、すごいね!銅像に見る鹿児島の歴史」講座を開講しました。子ども22名、保護者15名が参加し市内にある銅像を取り上げ、歴史の偉人を詳しく紹介しました。

講座受講前の推しの偉人ランキングでは西郷隆盛が根強い人気でしたが、受講後にもアンケートを取ると島津斉彬が人気になるなどの変化がありました。

受講者からは「西郷隆盛という名前だと思い込んでいたから実は過去にこんなことがあったのだと思った」「郷土の偉人について、詳しく、児童生徒に分かりやすく講話していただけて、とてもいい学びになった」など感想が寄せられました。

普段何気なく通り過ぎてしまう銅像も、今回の講座を受講することでより深く人物像を掘り下げることができました。

イベント 教職員歴史講座を開催しました

8月8日(木)～9日(金)の2日間に、当館で「教職員歴史講座」を開催しました。

歴史講座・史跡めぐり・ドラマ鑑賞・自顕流体験と盛りだくさんの内容で参加者の方々から、「社会科の教科指導だけでなく、道徳や総合的な学習の時間など、様々な学習で郷土教育や先人の生き方、考え方にふれていきたい」や「自分で歩くだけではしれない裏話などあってとても楽しかったです」や「(自顕流)貴重な体験ができたことをとても嬉しく思うと共に、このように文化を継承してくださる方々がおられることで、昔からの伝統が守られていることを、ぜひ子供達に伝えようと思います」という感想をいただきました。



西郷さんの思いに近付ける場所、南洲神社・南洲墓地

南洲神社・南洲墓地



◀西郷隆盛の墓

▲西郷さんから見える桜島

鹿児島市上竜尾町にある南洲神社。西南戦争で亡くなった戦没者2023名が眠る県の文化財に指定されている南洲墓地の隣に建ち、戦没者を祀っています。

取材に伺った8月にも西郷さんのお墓に手を合わせる方がいらっしゃいました。墓石をみると10代から多くの若い命が倒れた西南戦争がこの地で本当にあった事実であることを実感します。

宮司の鶴田伊都雄さんにお話しを伺いました。県外からの参拝者も多く、西郷さんを慕い訪れる方も多いとのこと。西郷隆盛の墓を中心に、桐野利秋、篠原国幹、村田新八など同志が西郷さんを囲むように並ぶ様子は、亡くなくてもなお、鹿児島をこの高台から守っているように感じられます。

3年後には生誕200年を迎えます。節目の注目が集まる機会ではあるが、西郷さんの思いや精神を守り伝えていけたらと話してくださいました。



つるだい つお
宮司 鶴田伊都雄さん

■南洲神社・南洲墓地

〈住所〉 鹿児島県鹿児島市
上竜尾町2-1
(南洲公園内)

〈TEL〉 099-247-6076

イベント おりがみあそび体験会を開催しました

7月27日(土)には島津斉彬が愛した「朝顔」、8月24日(土)には鹿児島のシンボル「桜島」を季節感や鹿児島の自然などおりがみを通して来館者の皆様に楽しんでいただきました。

参加されたお客様より、「園児～小学生まで楽しめる簡単な折り紙だった、子ども達も最後まで喜んで取り組んでいた」や「桜島を折り紙で作る日が来るなんて! 感激です」などの感想が寄せられました。

次回は10月5日(土)に開催予定となっております。当館のホームページや市民のひろばなどでお知らせいたしますので、どうぞご参加ください。

